

創成川融雪管

創成川融雪管は、雨天時に合流式下水道から河川に放流される汚濁負荷を削減することを目的とした創成川貯留管を、降雨のない冬期間に下水処理水を送水し、融雪管として活用するものです。

平成9年1月に第1投雪口、平成18年1月に第2投雪口の供用を開始しました。

また、創成東流雪溝へ送水する水は、この融雪管に供給した処理水を循環利用しています。

施設概要

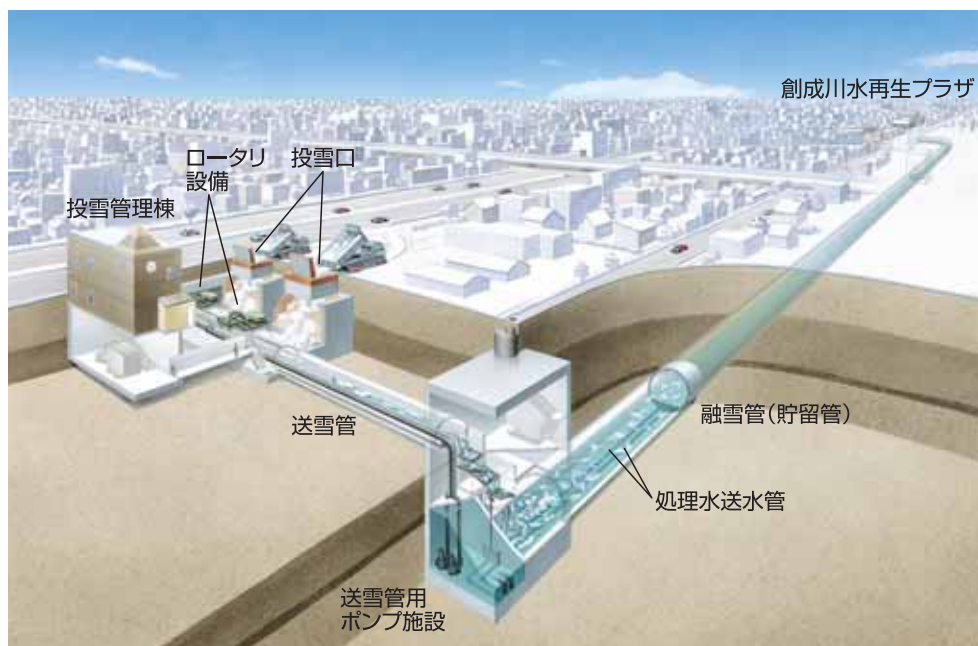
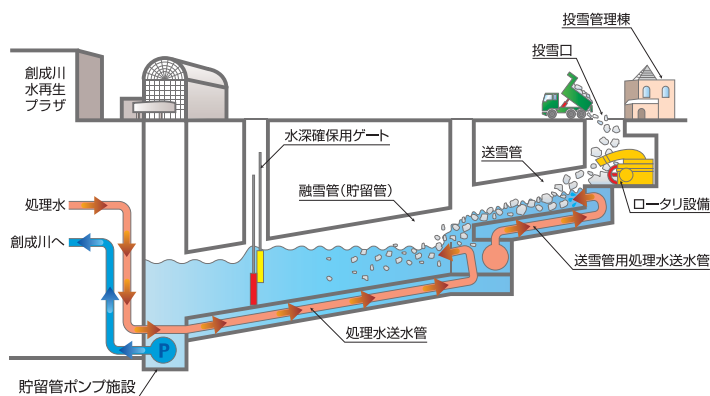
事業	下水道事業(第1投雪施設:積雪対策下水道事業)、 (第2投雪施設:リサイクル推進事業 再生資源活用型)
供用開始	平成9年1月(第1投雪施設)、平成18年1月(第2投雪施設)

融雪管

位置	札幌市東区幌北線(東1丁目通り)
管径と延長	φ5,000mm(内径)、L=2,495m
貯留量	約46,400m ³
熱源	下水処理水(創成川水再生プラザ)
送水量	約24,000m ³ /日
送水管	φ500mm×2本(約0.54m ³ /秒:貯留管洗浄用と兼用)
融雪能力	約4,200m ³ /日(ダンプトラック約300台)
放流先	創成川

投雪施設

位置	札幌市東区北28条東1丁目(札幌運輸支局内)
投雪口	2ヶ所(ダンプトラックによる直接投入)、幅3.0m×長さ4.0m
送雪管	φ2,600mm、L=140m
送水管	φ631mm(約0.40m ³ /秒)
その他施設	ロータリ設備2機



伏古川融雪管

伏古川融雪管は、雨天時に合流式下水道から河川に放流される汚濁負荷を削減することを目的とした伏古川貯留管を、降雨のない冬期間に伏古川水再生プラザの下水処理水を送水し、融雪管として活用するものです。

施設概要

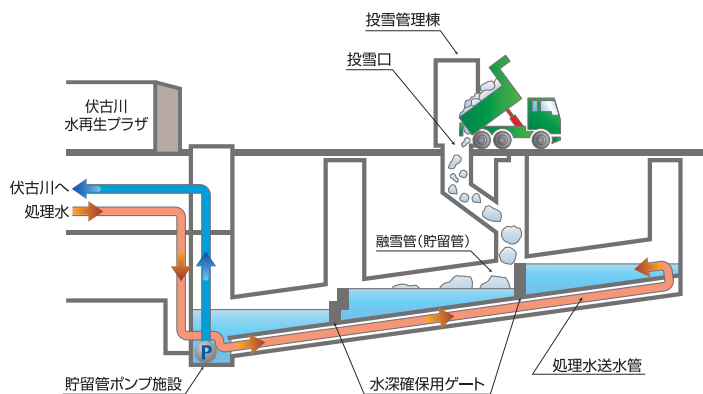
事業	下水道事業（リサイクル推進事業 再生資源活用型）
供用開始	平成16年2月

融雪管

位置	札幌市東区伏古8条1丁目～東苗穂2条2丁目（北24条線、苗穂三角街道線）
管径と延長	φ4,200mm（内径）、L=2,210m、φ3,000mm（内径）、L=690m
貯留量	約32,000m ³
熱源	下水処理水（伏古川水再生プラザ）
送水量	約21,000m ³ /日
送水管	φ500mm×2本（約0.41m ³ /秒：貯留管洗浄用と兼用）
融雪能力	約4,000m ³ /日（ダンプトラック約290台）
放流先	伏籠川

投雪施設

位置	札幌市東区東苗穂2条2丁目
投雪口	2ヶ所（ダンプトラックによる直接投入）、幅4.0m×長さ4.2m



伏古川水再生プラザ

